



知基第78号
令和元年6月12日

防衛大臣
岩屋 毅 殿

沖縄県知事 玉城 デニー



CH-53Eからの部品落下事故について（抗議）

6月4日にCH-53Eの部品であるブレードテープが浦西中学校のテニスコートに落下する事故が発生しました。

在沖米軍は、落下物であるブレードテープは、人身や財産に脅威をもたらすものではないと説明していますが、日常的に米軍基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている県民にとって大きな不安を与えるものであり極めて遺憾であります。

また、生徒達にとって一番安全であるべき場所であるはずの学校に落下しており、平成29年にも宜野湾市の普天間第二小学校に窓枠が落下し、緑ヶ丘保育園の事案もあったことから、こうした事故がいつか人命に関わる重大な事故につながりかねないと危惧しています。

在沖米軍は、ブレードテープのついている全ての航空機を検査しており、劣化が見つかったブレードテープを取り除く、または取り替えるとしておりますが、そもそもこのような事態が発生する前に点検・回収するのが当然であり、米軍におけるヘリコプターの整備や管理が不十分であると言わざるを得ません。

県としては、今回の事故の発生に強く抗議し、全航空機の緊急点検の実施とその間の米軍機の飛行中止を求めるとともに、航空機整備、安全管理体制の抜本的な見直しを米軍に対し強く働きかけ、実行させるよう要請します。

また、このような事故が度々発生するのは、住民生活に隣接して普天間飛行場があるが故であり、政府は、普天間飛行場周辺住民の生命・財産を守ることを最優先に、辺野古移設とは関係なしに、普天間飛行場の早期の運用停止を実現するよう強く求めます。